

全血中心筋トロポニンT検出用試験紙

TROP T Sensitive

TROPONIN T

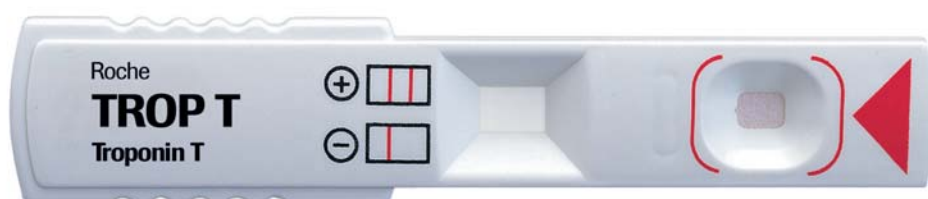
迅速に
診断

全血で
測定

簡単な
操作

簡単な
判定

高い
特異性



全血150 μ Lを滴下するだけで、15分以内に血中心筋トロポニンTを判定。

その迅速性が常に求められる“急性心筋梗塞”の診断と治療。

ロシュ・ダイアグノスティックスの「トロッP センシティブ」は、

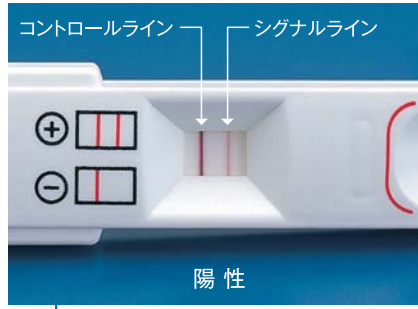
150 μ Lの全血を滴下するだけで、短時間に心筋梗塞の診断ができ、よりの確な治療方針が立てられます。

トロップT センシティブなら、試験紙のライン本数を見るだけで、迅速に心筋梗塞の判定ができます。

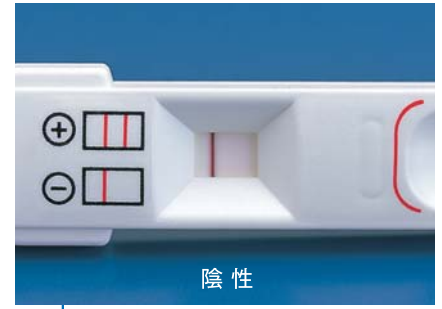
ご使用方法



1 検体滴下用シリンジの全血検体150 μ Lを、試験紙の検体滴下孔に滴下します。検体滴下後15分間静置してください。



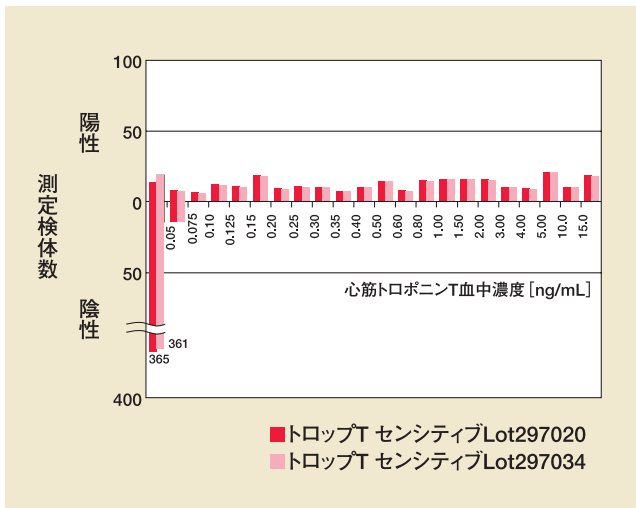
2 コントロールラインとシグナルラインの2本が発色した場合は、陽性 \oplus と判定します。



3 コントロールラインのみが発色した場合は、陰性 \ominus と判定します。

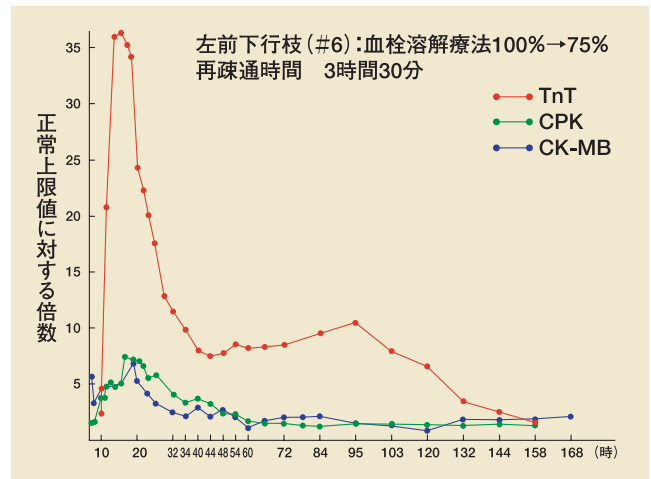
シグナルラインがわずかでも発色した場合は陽性 \oplus と判定してください。※2本とも発色しない場合は測定不良です。

トロップT センシティブの測定感度



参考資料

急性心筋梗塞における各種心筋傷害マーカーの経時変化



特長

- ◎ **迅速に診断**
15分以内に結果が判明します。ただし、発症早期(4時間)や小梗塞の場合、陰性を示すことがあります。※1
- ◎ **全血で測定**
全血※2を用いるので血清分離が不要です。
- ◎ **簡単な操作**
分析機器を必要としません。
- ◎ **簡単な判定**
ライン本数による判定。誰でも簡単に判定できます。
- ◎ **高い特異性**
心筋トロポニンTに特異的なモノクローナル抗体を用いています。
- ◎ **長い診断時間帯**
発症後1~2週間にわたり心筋梗塞を確認できます。
- ◎ **検体定量シリンジ付**
150 μ Lを簡単に定量できます。

※シリンジは検体定量用で採血用ではありません。なお、処置後のモニターには「エクルーシストロポニンT STAT」による定量検査をご利用ください。

※1 トロップT センシティブを用いて判定する場合、発症後4時間以内では心筋トロポニンTの遊出量が少ないために血中濃度が低いため、陰性を示すことがあります。発症早期(4時間以内)に判定する場合には、トロップT センシティブが陰性であっても心電図などから総合的にご判断ください。

※2 検体は抗凝固剤(ヘパリンまたはEDTAのみ)を添加したものをご使用ください。

パッケージ内容



※包装単位(5テスト用)
試験紙(アルミパック包装)5枚/検体定量用シリンジ(150 μ L)5本/記録紙5枚
貯法:2~8 $^{\circ}$ Cで保存してください。



ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 〒105-0014 東京都港区芝2-6-1
カスタマーサポートセンター ☎ 0120-642-906 <http://www.roche-diagnostics.jp>